

市政レポートは、市議会定例会の翌月（1, 4, 7, 10月）に発行しています。

来春からごみ処理が有料に

9月議会で指定ごみ袋制導入（ごみ処理有料化）の議案が提出されました。可燃ごみに対して指定袋45リットル相当が1枚60円（20リットル30円、10リットル15円）というものです。

行政側は議案提出に先立ち、25回の市民懇談会を実施し、概ね了解は得られたとしています。しかし、この懇談会への出席者はわずか473名で、これで市民との合意形成がなされたとは到底思えません。平成15年に実施したごみ減量3大作戦では六千人からの市民に説明しているのに、今回はたった473名です。また、今なぜ導入しなければならないのか、なぜ1枚60円なのかについても、納得できる回答は得られていません。さらに、あしかがみや市のホームページを通して有料化を検討していることの広報や、それに対する意見募集もなされていません（大和市では市民アンケートを実施しています）。

ごみ減量の必要性は認めるところですが、市民との合意形成がなされていない現段階で認めるわけにはいきません。したがって、今回この議案には反対しました。しかし、賛成多数で可決されてしまいました。

ごみ処理有料化は全市民（全世帯）に関わる新たな税負担です。一部の受益者に対する幸楽荘の有料化や印鑑登録手数料の有料化などとは性質が異なります。したがって、市長自ら市民へ説明すべきと考えますが、そのようなことは一度もなされませんでした（日野市では100回もの懇談会に市長自らが出席）。こうした点にも疑問が残ります。



織原 義明（おりはら よしあき） 略歴

- 1965年 足利市生まれ/西小学校、第一中学校、足利高等学校を経て
- 1989年 山形大学理学部地球科学科卒業
- 1990年 一般企業に入社 塾講師、制作、企画営業を経験
- 1996年 科技厅（現文科省）主導による地震予知研究プロジェクトに参加
理化学研究所研究員
- 2003年 足利市議会議員に初当選
- 2007年 足利市議会議員に二期目の当選、建設防災常任委員会副委員長

★ 9月議会一般質問 ★

9月議会では以下の質問をしました。

1. 中心市街地のまちづくりについて

(1) 日赤移転による現在地周辺の影響 (2) 中心市街地活性化と土地区画整理事業

2. 足利赤十字病院の移転問題について

(1) 市の補助についての考え方

3. ごみ袋指定導入（ごみ処理有料化）について

(1) 市民との合意形成 (2) 有料化に頼らない減量政策 (3) 有料化の場合の対案

4. 災害時要援護者支援について

(1) 個人情報との兼ね合い (2) 食物アレルギーへの対応

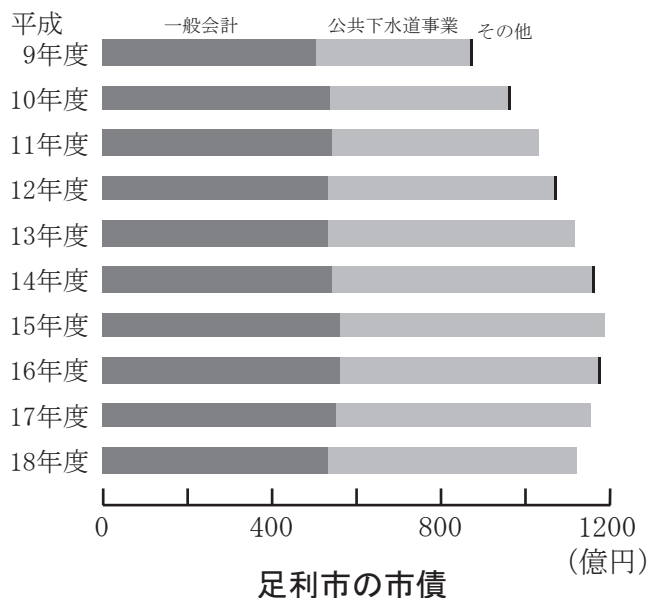
足利赤十字病院の移転に関しては、移転後の現在地活用も重要な課題です。移転による中心市街地のさらなる空洞化は容易に想像できます。しかし、中心市街地活性化も本市施策の大きな柱であり、移転と同時進行で考えていく必要があります。所有者は病院側ですが、行政としても、そして我々議員も真剣に考えていかなければならない問題です。

病院側からの移転に対する補助金要望額は、県と市あわせて30億円です。その分配については県と協議し、年内にも決めたいとしています。今回の質問では全て補助金ではなく、さくら棟建設時にもおこなった無利子貸し付けを提案しました。本市財政は大変厳しいものがあり、無い袖は振れません。それを病院側に理解してもらうことも必要だと思います。

★ 市債は減少傾向 ★

9月議会では平成18年度の決算審査が行われました。市債（市の借金）は平成15年度をピークに減少し、平成18年度は1,126億8,516万6千円となりました。市民ひとり当たり71万円余となります。

減ってもまだ一千億円超です。今後とも人口減、歳入減が予想されるなか、さらなる歳出削減に加え、新たな借金を抑制する必要があります。



★ ゴミから考える環境問題 ★

今回のごみ処理有料化に関連していろいろ調査をするうち、いくつか疑問が沸いてきました。

- 1) ごみ処理有料化によって本当にごみは減るのか？
- 2) リサイクルすれば消費しても良いのか？
- 3) 資本主義のもとで循環型社会が構築できるのか？

1) については議会答弁で行政側も認めているように、有料化だけでごみは減りません。それを契機にさまざまな施策を行うことによって減量化されています。しかし、この減量は行政処理の量のことであって、本当にごみが減るのかはまた別の問題です。既に有料化を実施している自治体のスーパー数店に尋ねたところ、有料化を契機に包装されていない、いわゆる裸売りの商品が売れ出したわけではなく、店内で包装を捨てていくようになったとのこと。つまり、家庭から排出される分のごみがお店で処理する分に移動しただけなのです。しかし、これはあくまで少数の例に過ぎないので、実体を把握するにはしっかりとした調査が必要です。

また、一見良さそうに思えることが実はそうではないこともあるようです。ある製紙業界大手は今年4月に古紙100%の再生紙を廃止すると発表しました。理由のひとつが古紙を使用しないでつくるときに比べ、化石燃料（石油・石炭）の使用が約二倍になるためだからです。古紙100%再生紙をつくと二酸化炭素を二倍排出してしまうというのです。

よかれと思ってやっていたことが、実は環境破壊につながっていたなんてことがないようにしなければなりません。今後もこの問題は継続して調査・研究をしていくつもりです。

★ 第2回オープンミーティング ★

市民の皆様との直接対話の場として設けた第2回目のオープンミーティングを8月30日に市民会館で開催しました。

今回は前半で足利赤十字病院移転問題を取り上げ、後半ではごみ処理有料化についてを議題としました。病院移転問題では現状報告と今後の課題について話し合いました。また、ごみ処理有料化については、私が9月議会でどのような姿勢でこの問題に取り組むのかを示し、その後皆様から意見を頂戴しました。

次回開催は11月下旬を予定しています。テーマや日時等につきましては、ホームページなどを通してお知らせいたします。

■ 織原義明のおもな活動(2007年7～9月) ■

7月12日 自治体総合フェア2007（東京）
7月13日 ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟 第3回研修会（東京）
7月20日 議会だより編集委員会、建設防災常任委員長協議会
7月31日 第22回両毛六市若手議員懇談会定期総会（桐生市）
8月10日 平成19年度栃木県議会県土整備委員会現地調査（北郷公民館）
8月20日 建設防災常任委員長協議会
8月24日 議会運営委員会
8月30日 全員協議会、第2回オープンミーティング（市民会館）
8月31日 市議会9月定例会本会議
9月1日 女と男のフォーラム（市民プラザ）
9月2日 名草フラワーフェスティバル、幕内秀夫氏講演会（太田市）
9月3日 北関東自動車道進捗状況の説明会
9月7日 市議会9月定例会本会議
9月10日 市議会9月定例会本会議
9月11日 市議会9月定例会本会議にて一般質問
9月12日 建設防災常任委員会
9月13日 議会改革推進協議会理事会
9月18日 決算審査特別委員会
9月19日 決算審査特別委員会
9月21日 議会運営委員会、市議会9月定例会本会議
9月27日 足利インタービジネスパーク分譲完了報告会（市民会館）
9月28日 足利の絵馬展Ⅲ（市民プラザ）

※ホームページでは、毎週の活動報告等を随時更新しています。

<http://www.watarase.ne.jp/orihara/>

★ 平成19年度4月分 政務調査費収支報告 ★

足利市では市議会議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として議員個人に対し政務調査費を交付しています。本年4月は改選期となったため、4月分は1ヶ月間だけの決算となりました。政務調査費の収支報告書は、情報開示により閲覧が可能です。

収入 円83,000 - 支出 円78,439 = 残額 円4,561 ※) 円4,561 を市に返却

<支出内訳>

調査旅費：円3,279 資料購入費：円 5,080 広報広聴費：円62,180
事務費：円7,900

過日「4月30日提出〆切の収支報告書が、8月5日になってもまだ4人が未提出」との新聞報道がなされました。そのなかで「自分たちで決めたことなのに議員としての資質がない」と厳しく指摘されました。まさにその通りだと思います。

期日を守らなかった議員は昨年もあり、このようなことが続くなら、議会としても報告書未提出者には新規調査費の交付を留保するなど、何らかのペナルティを課すことも考えなければならぬかもしれません。